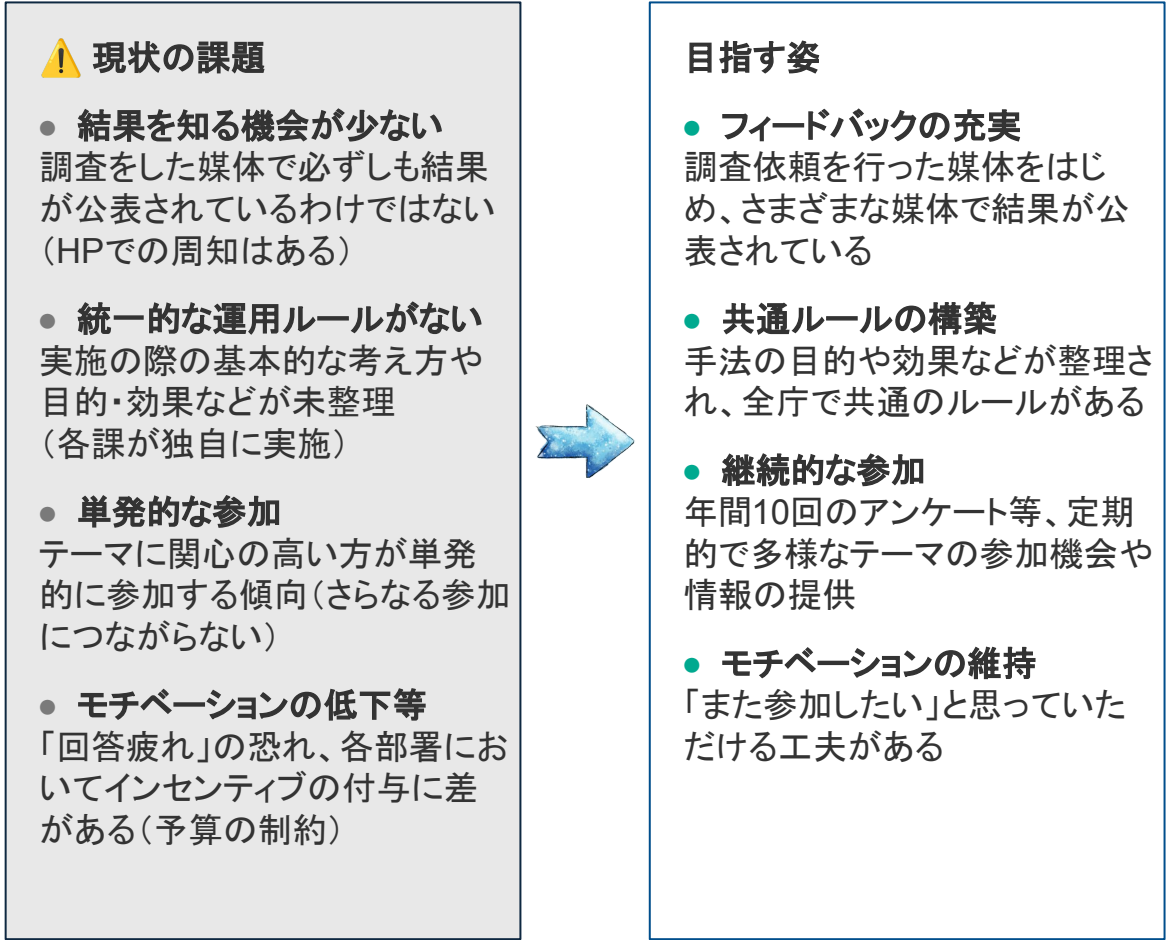


デジタル活用等により参加のハードルを下げ、市民が継続的に関わりたくなる仕組みを検討

市民サポーターズ制度(第5次市民自治推進会議答申より)

市民サポーターズ制度とは	市民や団体がサポーターとして市に登録。定期的にアンケートに協力し、結果のフィードバックを受けることで政策形成に継続的に参加したくなる仕組みとして、第5次市民自治推進会議の答申において提言されたもの。
目的等	<p>積極参加層の継続的な参加を促すとともに、サイレントマジョリティが市政に意見を表明するためのきっかとなるもの。</p> <p>参加の負担を軽減するために、デジタルツールを活用して、オンライン上で情報共有や意見提出を行うことのできる環境づくりをする。</p> <p>登録者のモチベーション維持のため、様々な形式のインセンティブを用意することが望ましい。</p>
答申に基づく実施イメージ	①様々な媒体で周知→②アンケート(テーマに関する情報も提供)、市民委員公募、ワークショップなどの情報を配信→③結果をフィードバック→④回答数等に応じたインセンティブの付与

現状のデジタルを活用したアンケートの課題と目指す姿



## まずは基盤を整備し、より市民にとって利便性の高い仕組みの構築を目指す

### STEP1(R7～)

アンケート結果を効果的にフィードバックを行う工夫の検討・試行

例えば、LINEのアンケートを行う際に結果の公表方法・時期等を併せてお知らせする等の工夫を検討し、試行する



**既存手法のフィードバックの充実**  
結果の公表方法を個別に改善



**(未)共通ルール of 構築**

課題: ルールの全庁的な検討・整理



**(未)サポーターズ制度 of 実施**

課題: 媒体の選定、予算等

### STEP2(R8～)

ガイドラインにおける現行ルールの整理

(仮称)市民参加推進ガイドラインの中で、市民参加の観点から、左記を含めた各種手法のルール等を整理する



**既存手法のフィードバックの充実**  
結果の公表方法を統一



**共通ルール of 構築**

各種手法のルール等の整備



**(未)サポーターズ制度 of 実施**

検討課題: 媒体の選定、予算等

### STEP3(R8以降)

全庁的な行政サービスのスマート化の状況も踏まえ、利便性の高い仕組みを構築

より利便性が高く、参加したくなる方法を模索し、継続的な市政参加、政策への納得感の醸成を目指す



**既存手法のフィードバックの充実**  
結果の公表方法が定着



**共通ルール of 構築**

ルールのさらなる浸透を図る



**サポーターズ制度 of 実施**

継続的な参加、政策の納得感の醸成